

## 第2学年道徳指導案

日 時 平成16年 5月27日(木)

学 級 2年(男子11名 女子12名 計23名)

指導者 教 諭 西 井 栄 幸

I 主題名「相手の思いを生かす広い心」 指導項目 2-(5) 自他の尊重、謙虚、広い心  
資料名「発車、オーライ！」 出典「かけがえのないきみだから」 学研

### II 主題について

#### (1) ねらいとする価値について

中学校の指導項目2-(5)は、「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、謙虚に他に学ぶ広い心をもつ。」となっている。

中学生の時期は、著しい精神的成長の中で、ものの見方や考え方に違いが現れてくるとともに、自我をしだいに確立していく時期である。それぞれが互いに、他の人とは違う自分らしさを身につけようと葛藤する。しかし、精神的にはまだ発達段階にあるため、ときには自分の考えや立場に固執し、自分とは違う他者の考えや立場を素直に認ようとしめない傾向にある。

そこで、互いの考えや立場を十分に理解し、尊重しあえる広い心を育てることが大切である。また、このような広い心をもつことが、相互の人間関係を豊かにし、さらには、正しい自我の確立にもつながると考える。

#### (2) ねらいにかかわる生徒の実態について

昨年の7月に実施した道徳適性検査の結果を見ると、指導項目2-(5)については、A(十分発達)16名、B(おおむね発達)6名、C(発達が不十分)1名と概ね良好な結果が出ている。

学級の生徒は、素直な子どもが多く、教師に反抗的な態度をとるものはいない。また、教師の忠告に対して謙虚に耳を傾け自分を高めていこうとする姿勢も見られる。友達に対しても、自己中心的でわがままな振る舞いをする生徒はほとんどおらず、男子、女子にかかわらずおおむね仲の良い学級である。

しかし、学級での話し合いの様子を見てみると、自分の考えはあるものの、それをみんなの前ではっきりと表現することが少なく、他の人から出された考えに同調する傾向が見られる。このような傾向は、特に女子に強く見られる。

#### (3) 資料について

本資料は、間違えて特急バスに乗ってしまった乗客に頼まれ、規則で停車することのできない所ではあるが、乗務員がブレーキテストということでバスを停車させ、乗客を降ろしてあげるという内容である。

規則に従って運行していくのは乗務員の職務であり、本来であれば、理由はどうであれ、特急バスにうっかり乗ってしまった乗客に途中下車できないことを理解してもらう以外に方法はないのが現実である。狼狽している乗客の心情を理解することは大切であるが、そのために、乗務員を単に責めることがないように乗務員の立場もしっかり理解させたい。

ブレーキテストは思いつきではなく、乗務員その乗客に対する、何とかしてあげたいと思う気持ちの表れであり、相手の置かれた苦しい立場を心の底から理解し、広く考えることのできた結果であることも押さえたい。

こうした、人それぞれの置かれた立場をよく理解し、それを生かす広い心をもつことが、乗務員と乗客の人間関係を豊かにし、車内に清々しい雰囲気をもたらしたことを感じ取らせるところに、本資料活用のポイントがあると考えられる。

### Ⅲ 指導の構想

#### (1) 授業の概略

導入では、「心のノート」の「多義図形」をもとに、一つの絵でも、見る角度によって見え方が違うことに気づかせ、価値の方向づけをさせたい。

展開部分の資料の提示については、バスがホロ町にさしかかる前の段落とブレーキテストを行う段落で、二分割して提示する。資料の前段部分では、乗務員の葛藤に共感させながら、乗務員のとるべき行為を判断させ、その後の意見交流を通して、お互いの考えを深めさせたい。資料の後段部分では、乗務員が葛藤の末にとった行為がもたらした車内の清々しい雰囲気を感じとらせたい。このとき、生徒が乗務員のとった行為の善し悪しを問題としないように注意させたい。

終末では、授業を通しての感想を書かせ、人それぞれの置かれた立場を尊重し、それを生かせる広い心をもつことが、相互の人間関係を豊かにしていくことに気づかせたい。

#### (2) 研究仮説とのかかわり

##### ① 「心のノート」を活用する。

事前に、「心のノート」P54・55の「この絵は何に見えますか？」の空欄に、自分の考えを書かせることで、一つの絵でも、見る角度によって見え方が違うことに気づかせる。価値への方向づけをしておく。

##### ② 資料の読み取りの工夫をする。

朝自習を活用し、資料の前段部分を事前読みさせることで、乗務員とおじいさんの置かれた立場をよく理解させる。

##### ③ 考えをまとめて書かせる工夫をする。

ア. ワークシートを活用し、中心発問に対する自分の考えを書かせる。

イ. 本時の授業を通しての、感想を書かせる。

##### ④ 考えを広めたり深めたりできる場を設定する。

乗務員のとるべき行為とその判断理由を発表させたあとに、他の人の発言に対して感じたことを発表させる。

#### IV 本時の展開

##### (1)ねらい

相手の立場を尊重し、それを生かせる広い心をもつことが、相互の人間関係を豊かにしていくことに気づかせる。

##### (2)展開

	主な学習活動	○発問 ・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1. 人にはいろいろな立場があり、異なるものの見方や考え方がああることを考える。	○この絵は、何に見えますか。 ・アヒル ・ウサギ	・事前に「心のノート」P54・55の空欄に、自分の考えを書かせておく。 ・一つの絵でも、見る角度によって見え方が違うことに気づかせ、価値への方向づけをする。
展開 40分	2. 資料の前段部分を読んで考える。  3. お互いの考えを交流する。  4. 資料の後段部分を読む。	○乗務員は、おじいさんのためにバスを停めるべきだろうか。それとも、規則を守り、バスを停めないべきだろうか。 ・おじいさんのために、バスを停めるべきだ。 ・規則を守り、バスを停めないべきだ。  ○他の人の発言を聞いて、感じたことはありませんか。	・おじいさんが苦しんでいることは十分に理解しているものの、乗務員としての責務を無視できないつらさを十分に押さえる。 ・乗務員のとるべき行為とその理由についてワークシートに書かせる。 ・乗務員のとるべき行為については、ネームプレートを活用し、黒板上で、全員に意志表示させる。 ・判断理由については数人に発表させる。  ・意見交流のあと、乗務員のとるべき行為について、挙手により再度、全員に意志表示させる。  ・「ブレーキテスト」の結果としてうまれた、感謝するおじいさんの姿や、清々しい雰囲気の中の様子を、臨場感をもって、味わわせたい。
終末 5分	5. 本時の授業を通しての感想を書き、発表する。		・人それぞれの、置かれた立場を尊重し、それを生かせる広い心をもつことが、相互の人間関係を豊かにしていくことに気づかせたい。

##### (3)評価

- ①相手の立場を尊重し、それを生かせる広い心をもつことの大切さについて理解が深められたか。
- ②資料の後半、乗務員の行為から、車内の清々しい雰囲気を味わうことができたか。